

令和6年8月27日（火）午前10時～12時
横浜市庁舎18階 共用会議室みなと6・7

第73回 横浜市屋外広告物審議会

1 次第

- (1) 開会
- (2) 審議事項
横浜市屋外広告物条例第19条の規定に基づく許可の特例について
- (3) 報告事項
業務実績について（令和5年度）
- (4) その他
 - ア 開催通知の送付方法等について
 - イ 会議の運営について
- (5) 閉会

2 配付資料

- (1) 委員名簿
- (2) 席次表
- (3) 横浜市屋外広告物条例第19条の規定に基づく許可の特例について…… 【審議事項】
- (4) 業務実績について（令和5年度）…………… 【報告事項】

第34期横浜市屋外広告物審議会委員名簿

(委員名は五十音順)

任期 令和4年12月1日から

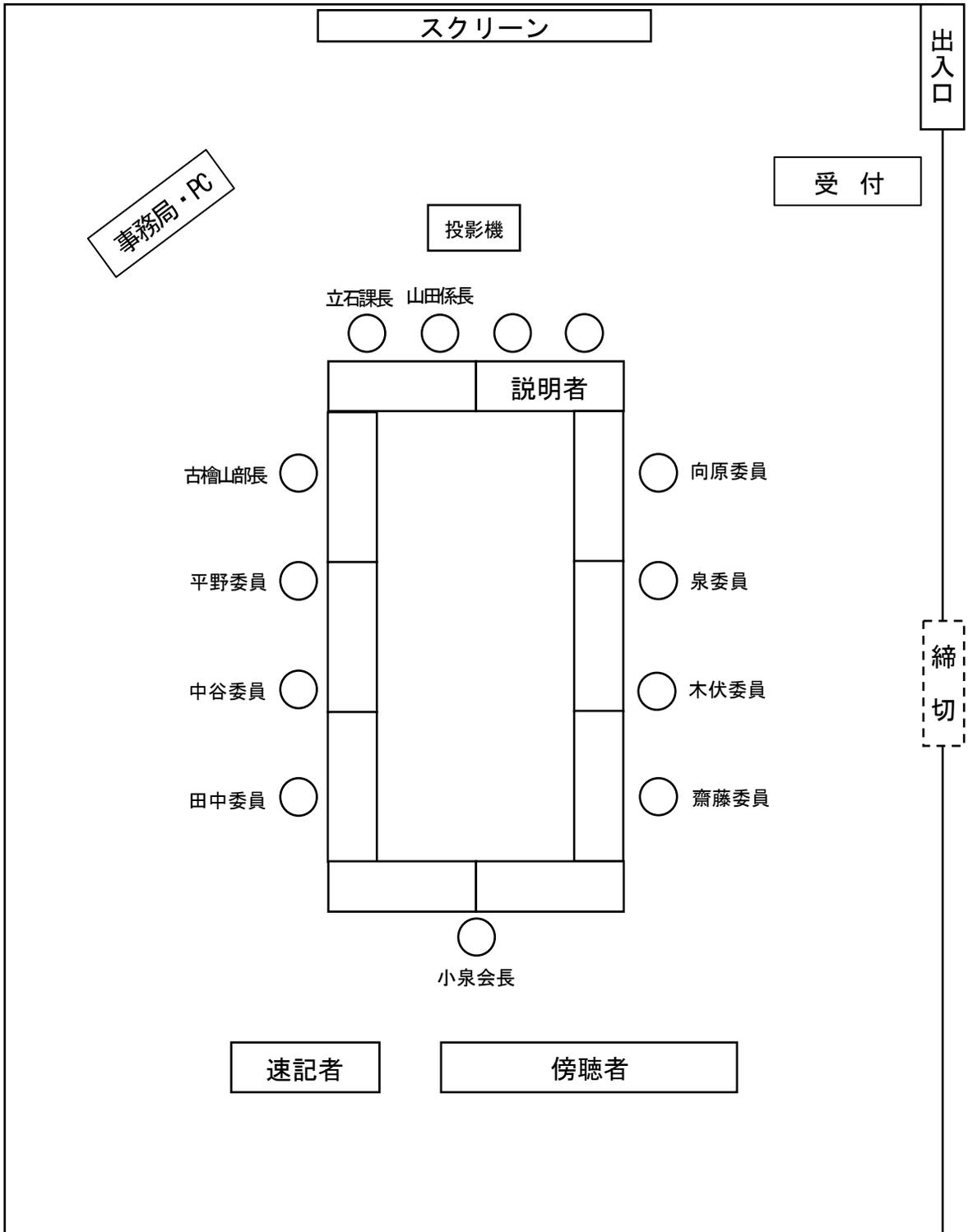
令和6年11月30日まで

	氏名	役職名
会長	小泉 雅子	多摩美術大学教授
副会長	高橋 晶子	武蔵野美術大学教授
委員	泉 路代	弁護士
〃	内田 裕子	経済ジャーナリスト／イノベディア代表
〃	木伏 慎治	横浜市商店街総連合会理事
〃	齋藤 和雄	神奈川県広告美術協会副会長
〃	田中 喜芳	人間行動学博士
〃	中谷 忠宏	横浜商工会議所議員
〃	平野 周二	横浜市町内会連合会委員
〃	向原 浩和	神奈川県県土整備局都市部都市整備課長

令和6年8月1日現在

第73回 横浜市屋外広告物審議会 席次表

日時：令和6年8月27日（火）10時から12時まで
会場：横浜市庁舎18階 共用会議室みなと6・7



審議事項 横浜市屋外広告物条例第19条の規定に基づく許可の特例について

1 概要

名 称	橋梁等壁面を全面利用したミューラルアート（既存アートの拡張）
表示内容	壁画アーティストによる絵画（別紙）
設置場所	① 幸川橋上の壁面（横浜市西区南幸一丁目15番地先） ② 横浜ビブレ敷地内の公開空地（横浜市西区南幸二丁目15番13号）
設置期間	令和6年10月1日から令和9年9月30日 ・既存部分（当該壁面の3/10）は、令和5年10月より表示中 ※当該地区の継続的な価値向上、イメージアップ、まちのにぎわい向上等を目的とするため、条例第12条第2項第3号〔公共目的による許可不要〕を適用 ・拡張部分（当該壁面の7/10）は、令和6年10月1日より描画開始し、12月7日までに完成予定
特例許可を必要とする理由	・拡張により壁面全体への表示（①60.9㎡／②193.85㎡）となり、許可基準の上限3/10（①18.27㎡／②58.1㎡）を超過するため ・橋りょうは条例第7条第1項第1号に規定する禁止物件に該当するため

2 事務局としての考え方

(1) 事務局意見

横浜市屋外広告物条例第19条「その表示若しくは設置が公益上の理由その他の理由によりやむを得ないと特に認める広告物等で景観を阻害しないと認められるもの」に該当し、許可の特例として取り扱うことが適当であると考えます。

(2) 理由

ア 公益上の理由その他の理由によりやむを得ないと特に認める理由

本案件は、一般社団法人であり、都市再生推進法人にも指定されているエリアマネジメント組織が、治安や美化環境の課題を抱える横浜駅西口地域において、安心安全なまちづくりやアートによるまちのイメージアップを目指して実施するものです。

文化芸術の創造性を活かしたまちづくり手法は、本市が推進する文化芸術創造都市施策の目的にも沿うものであることから、公益上の理由があると認められます。

イ 景観を阻害しないと認められる理由

表示される広告物は、クオリティに一定の評価のあるアーティストが描く絵画であり、当該地の立地特性を踏まえたうえで、横浜の文化を花や緑といったモチーフによる温かなイメージで表現した内容となっているため、特段景観を阻害するものではないと認められます。

ウ 許可基準を超える表示面積が必要な理由

環境改善を図る範囲が広範囲に及ぶことに加え、過去の実施実績からもミューラルアートによる環境改善の効果が期待できることや、アーティストの表現に制限を加えない観点などから、表示面積の基準を緩和することが妥当と考えられます。

エ 橋梁（禁止物件）への表示が必要な理由

当該エリアの入り口に位置する場所であり、エリアのイメージアップのシンボルとしての効果が期待されるため、本物件への表示は妥当であると考えられます。

ヨコハマ西口アートプロジェクト 企画書



一般社団法人横浜西口エリアマネジメント

2024年8月

ヨコハマ西口アートプロジェクトについて

多くの様々な人々が行き交う横浜西口。こうした人流の多さは、このエリアに賑わいをもたらしてきた反面、大通りを外れた路地裏等では、かつては、窃盗や薬物売買等の犯罪が発生する負の側面も持っていました。こうしたマイナス環境を改善するため、我々一般社団法人横浜西口エリアマネジメントは、2017年3月の設立以来、地域の防犯パトロールやクリーンアップ活動、人の目を増やして犯罪抑止と魅力向上の両面に寄与する音楽ライブの定期開催といった活動を続けてまいりました。こうした活動は徐々に成果を上げ、極端な犯罪行為は激減し、エリアの環境は着実に改善してきているものと考えております。

こうした状況を踏まえ、エリア環境のさらなる改善と一層の魅力創出を図るため、アートを活用した環境改善プラン「ヨコハマ西口アートプロジェクト」を始動。2023年10月には、幸川橋と五段坂の公開空地に「エリアの自然と文化が育むサステナビリティ」をテーマとするミューラルアートを描きました。
(後援：横浜市にぎわいスポーツ文化局、エキサイトよこはまエリアマネジメント協議会)

このアートは、横浜市屋外広告物条例の規定を踏まえ、描画範囲を壁面面積の10分の3に留めたものですが、完成以降、様々な方々から、環境改善・魅力創出効果に対する評価・共感の声をいただいています。

この確実な成果を踏まえ、アートのメッセージ性やアートによる環境改善効果等を実感できるエリアを拡大し、さらなる効果が発揮されることを目指して、描画範囲を壁面全体（10分の10）に拡張することを企画いたしました。

描画範囲の拡張にあたっては、既存部分と同じアーティストに描画を依頼するとともに、そのテーマも継続し、既に定評のある既存部分との一体性を担保してまいります。そのうえで、2024年に区制80周年を迎えた西区の「温故知新のまち」や、2027年開催予定の「GREEN×EXPO 2027」のテーマである花、緑、食、農等の要素も踏まえたものを想定しています。

なお、今後は本プロジェクトの効果検証を行うとともに、アートによる環境改善・魅力創出をさらに進めていくため、本エリアをはじめとした横浜駅周辺地区の公開エリアでのさらなるアート活用策を実施し、「アートによるまちづくり」を推進してまいりたいと考えております。

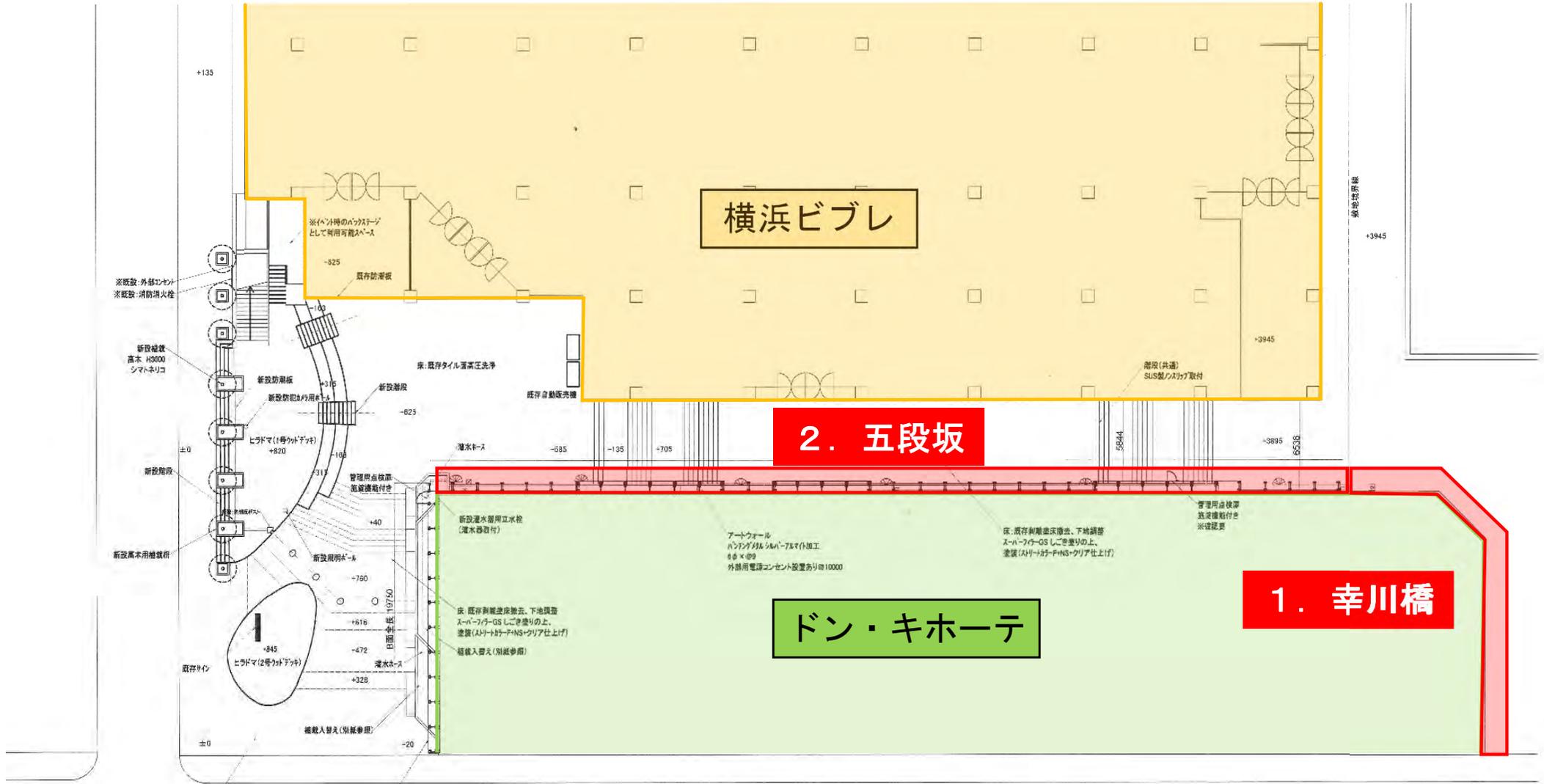
現地案内図

横浜市西区南幸一丁目15番地先

【幸川橋・五段坂（公開空地）】



現地配置図



パルナード通り

1. 幸川橋 取組前



1. 幸川橋 現況 (3/10)



2. 五段坂 取組前



2. 五段坂 現況 (3/10)



2023年の描画の様子



描画アートに対する感想・評価（関係団体）

【お声を頂いた団体等】（順不同）

- 南幸自治会（地域住民・事業者団体）
- 北幸自治会（地域住民・事業者団体）
- パルナード管理協議会、南幸安全安心まちづくり協議会（地域住民・事業者団体）
- 横浜駅西口商店会連合会（地域商店会）
- 株式会社OPA（地域商業施設：横浜ビブレ運営）
- イオンモール株式会社（地域商業施設：CeeU Yokohama運営）
- 神奈川県戸部警察署 生活安全課
- 横浜市西区 区政推進課

◎主な内容

◆環境改善

- ・ 雰囲気が明るくなった。
- ・ ゴミのポイ捨ても減ってきているように感じる。
- ・ 長時間の座り込み者が減り、女性や高校生等のアート前のベンチ利用が増えている。
- ・ アートがあることで壁面等への落書き抑制につながっているように感じる。

◆魅力創出

- ・ 横浜西口のイメージアップになっている。
- ・ 目立つ場所なので新たなシンボルとなりそう。
- ・ アートと一緒に写真を撮る人を良く見かけるようになった。
- ・ とても楽しそうな場所になった。

◆今後の展開

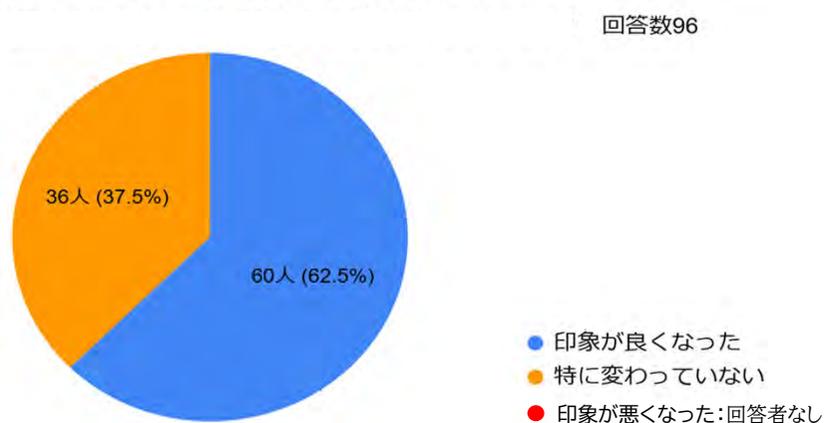
- ・ 複数のアーティストによるミューラルアートはとても面白いので、アート範囲がさらに拡大されることを期待している。
- ・ 横浜西口がアートの発信地として発展していきそう。
- ・ この場所のアートが広がることはもちろん、周辺地域にもアートが広がることでさらに様々な効果がアップしそう。

描画アートに対する感想・評価（一般アンケート）

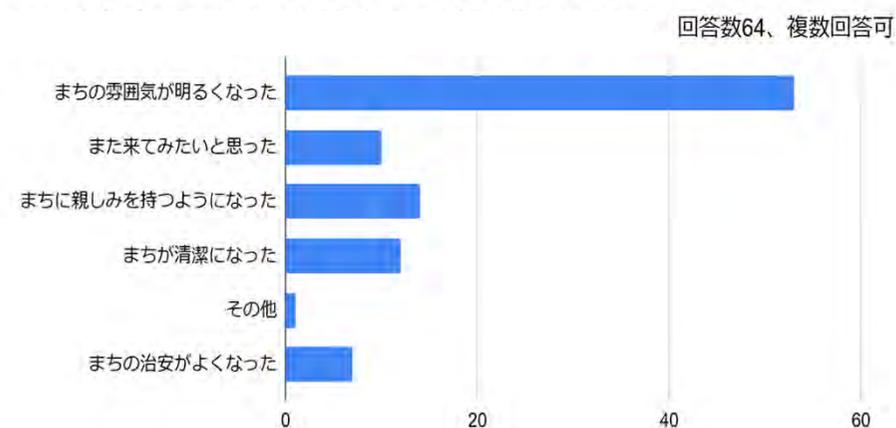
【アンケート概要】

- ・調査方法：QRコードによるオンラインアンケート
- ・実施時期：2024年1月～6月のイベント等開催日
- ・対象者：イベント等への一般参加者
- ・回答者数：96名

・設問1：壁面アートをみて、
横浜西口の印象は変わりましたか？



・設問2：印象が良くなったと答えた方は、
なぜそう思いましたか？（複数回答可）



今回の描画範囲拡大について

■作業期間

2024年10月上旬から12月中旬

■完成目安

2024年12月7日（土） ※同日完成披露式典開催予定 以降、常設を予定

■実施場所・面積

1. 幸川橋（橋上壁面） 60.90m²
2. 五段坂（公開空地壁面） 193.85m² 計254.75m² ※うち約60m²は2023年に描画済

■アーティスト ※既存部分と同じ

1. Gravityfree（グラビティフリー）
2. KensukeTakahashi（高橋憲助）
3. LuiseOno（オノ ルイーゼ）

■アート趣旨

全体コンセプトは、既描画アートと同じ「エリアの文化と自然が育むサステナビリティ」を継承。ビビットなカラーの花のモチーフを追加し、緑や自然を感じて、より老若男女が楽しめる雰囲気構築。さらに、ピアノマンモチーフがヒラヒラと帯状に広がって様々な世界観が生まれていく。

帯状に広がるイメージは、地域の魅力である水辺を表す水流のようでもあり、時間や空間の流れのイメージでもある。そしてサステナビリティやそれらが様々なアート表現を包含することで、ダイバーシティやインクルージョンといった意味も表す。

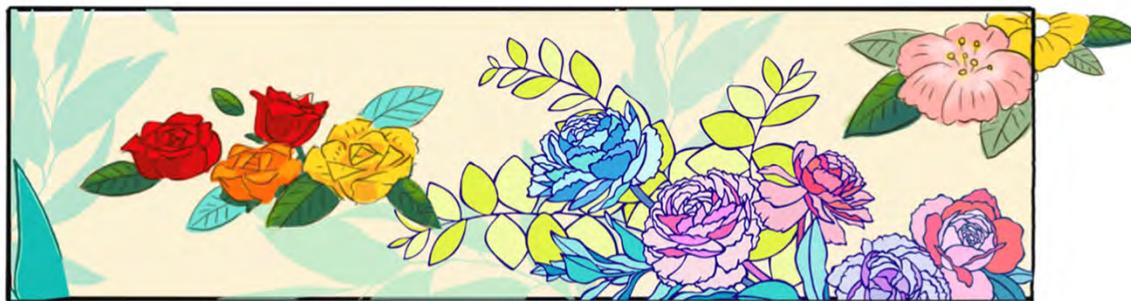
空間に躍動感や立体感が生まれ、より明るく楽しい雰囲気になり、エネルギッシュな西口発展のイメージにも繋げるとともに、全体の連動性によって、動き・流れを楽しめるアートとする。

1. 幸川橋 描画面積 ※実測値

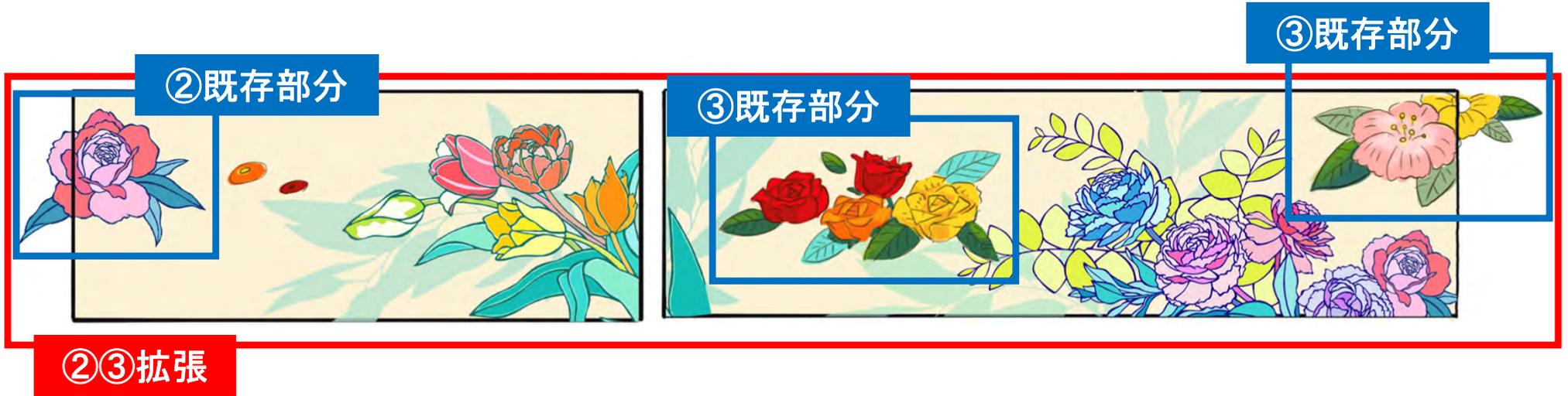


【面積】	
①	$16\text{m} \times 2.1\text{m} = 33.60\text{m}^2$
②	$5.5\text{m} \times 2.1\text{m} = 11.55\text{m}^2$
③	$7.5\text{m} \times 2.1\text{m} = 15.75\text{m}^2$
合計60.90m ²	

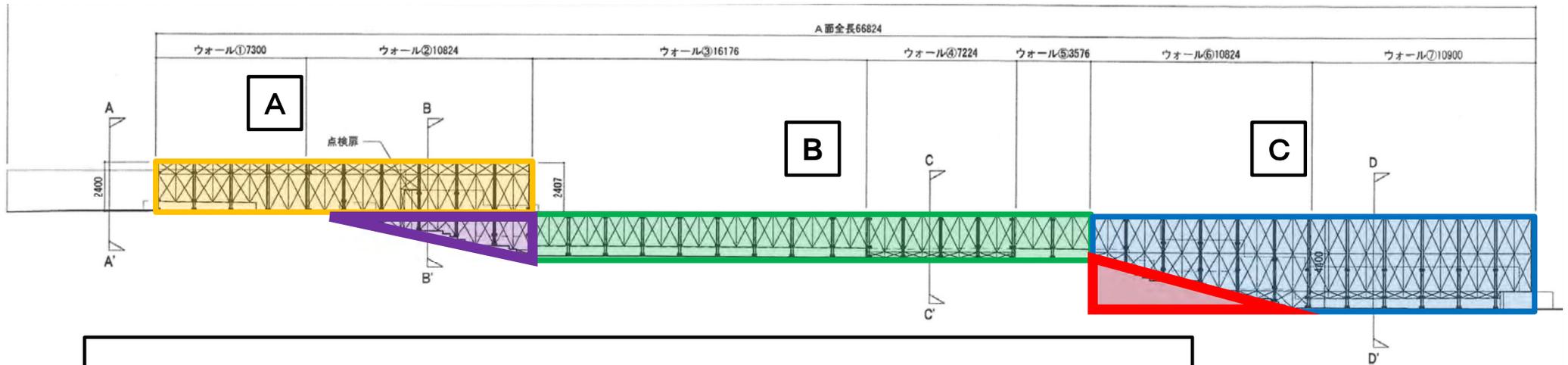
1. 幸川橋 10/10 ラフイメージ



1. 幸川橋 10/10 ラフイメージ



2. 五段坂 描画面積 ※図面に記載のない数値は実測値／小数第3位を四捨五入



【A部分】 ↓ 紫部分
 $2.40\text{m} \times (7.30\text{m} + 10.82\text{m}) + \frac{2.28\text{m} \times 8.76\text{m}}{2} = \underline{53.47\text{m}^2}$

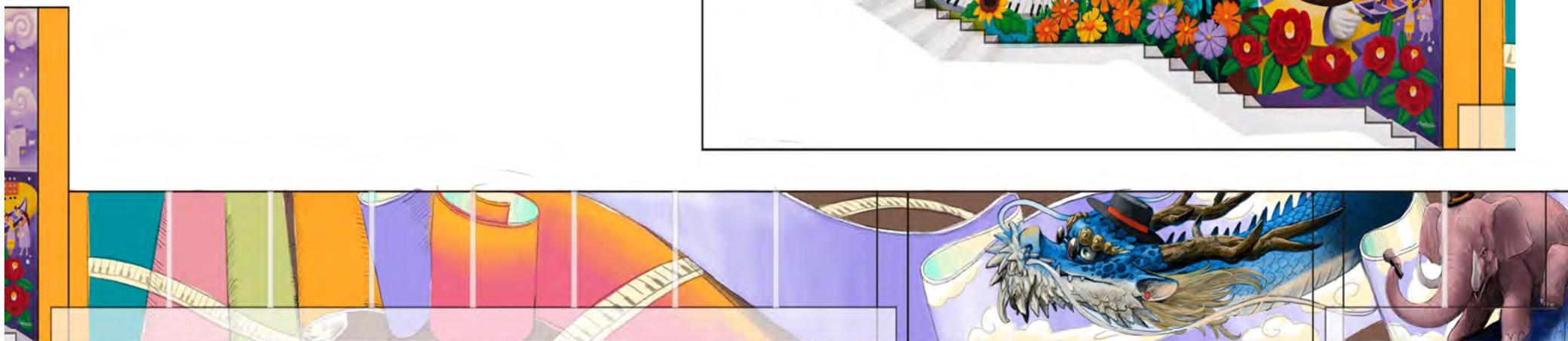
【B部分】
 $2.08\text{m} \times (16.18\text{m} + 7.22\text{m} + 3.58\text{m}) = \underline{56.12\text{m}^2}$

【C部分】
 $4.40\text{m} \times (10.82\text{m} + 10.90\text{m}) - \frac{2.50\text{m} \times 9.05\text{m}}{2} = \underline{84.26\text{m}^2}$

【合計】 ↑ 赤部分
 $53.47\text{m}^2 + 56.12\text{m}^2 + 84.26\text{m}^2 = \underline{193.85\text{m}^2}$

【幸川橋・五段坂合計面積】
 $60.90\text{m}^2 + 193.85\text{m}^2 = \underline{254.75\text{m}^2}$

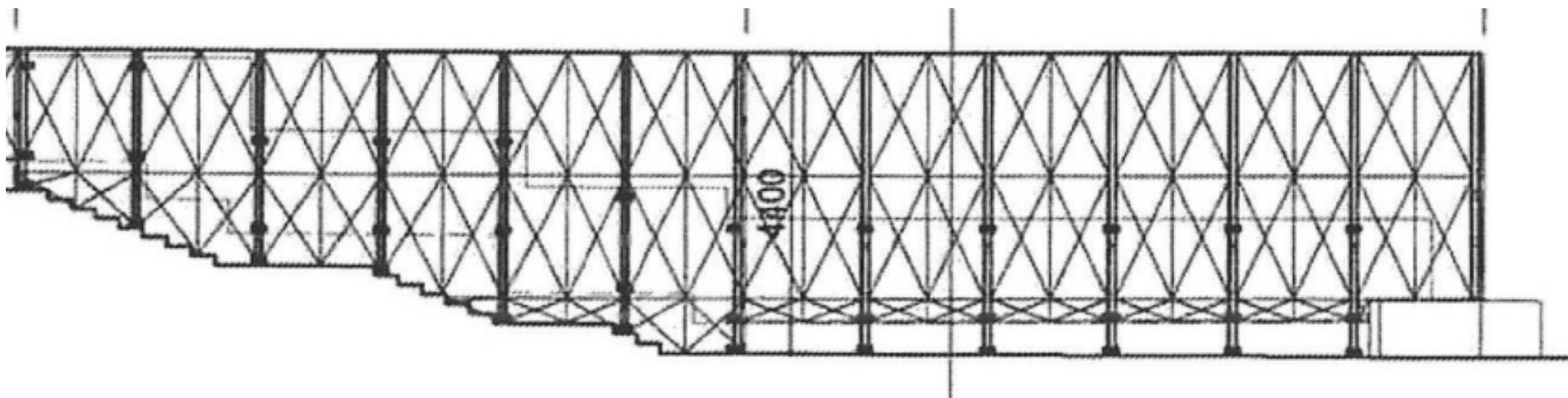
2. 五段坂 10/10 ラフイメージ



2. 五段坂 10/10 ラフイメージ (A・B部分)



2. 五段坂 10/10 ラフイメージ (C部分)



C 拡張

アーティスト紹介

既存部分と同様に、3組のプロの壁画アーティストによるコラボワークで描画を行います。

1. Gravityfree (グラヴィティフリー)



www.instagram.com/gravityfreegram/

djow(Toshio ono)と8g(Eiji miyata)による2人組の絵画家。
2人での表現を追求し、互いに共鳴し合い混然一体の”Gravityfree”らしい1つの世界観を作り出す。

2002年よりクラブイベントにて絵を描く遊びから始まったライブペイントは、FUJI ROCK FESTIVALを中心とする大型野外フェスに数多く出演し、ライブペイントカルチャーを広く認知させる存在となる。2人ならではの発想と即興性を活かし、壁画制作や商業ワークなど活動の場を拡げていく。近年ではこれまでの経験を生かし、ライブ会場ではない自身のスタジオで制作されたアート作品を絵画展で披露するなど新たな展開を迎えている。



2. KensukeTakahashi (高橋憲助)



<https://www.instagram.com/kensuketakahashi1977.art/>

横浜出身在住の壁画家/ペインター。
確かな描写力・緻密なテクニック・現実を飛び越える自由な発想力と、あえて画風を決めずに描くスタイルで大型壁画を中心に飲食店舗内壁面、企業や行政へのアートワーク提供、ライブペインティング等活動の幅を多岐に広げている。

近年では、大型壁画として川崎市役所本庁舎・J R横浜駅エキュート・横浜・横須賀・町田・八王子・名古屋・神戸・那智勝浦・マカオ・バンコク・デュッセルドルフ等々全国各地にて制作。



3. LuiseOno (オノ ルイーゼ)

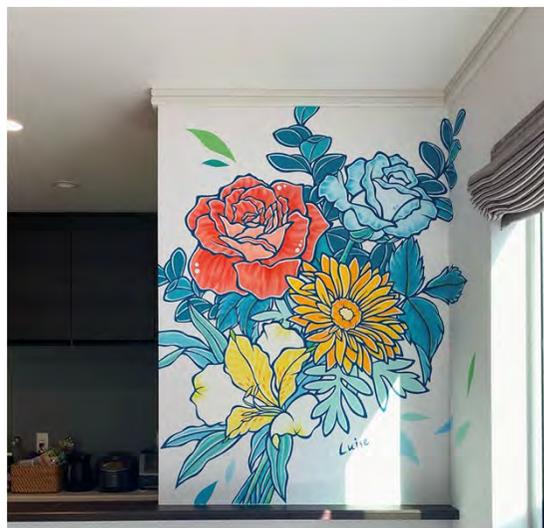


<https://www.instagram.com/luiseono/>

1989年生まれ。神奈川県平塚市出身。
“成長”をテーマに、植物の生い繁る様や波の流れ、自然界に溢れるエネルギーを有機的な線で表現している。

2010年、クラブイベントでのライブペイントにてキャリアをスタート。現在は店舗内外への壁画や企業・行政とのコラボレーションを経て、壁画フェスティバルPOW!WOW! JAPAN・TAIWAN・HAWAII・LONG BEACHへ参加。

そしてらぽーと湘南平塚や高知蔦屋書店、清福寺への壁画等、現在は積極的に大型の壁画制作を行なっている。



CITY OF YOKOHAMA

ヨコハマ西口アートプロジェクトについて

にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課

令和6年8月27日

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

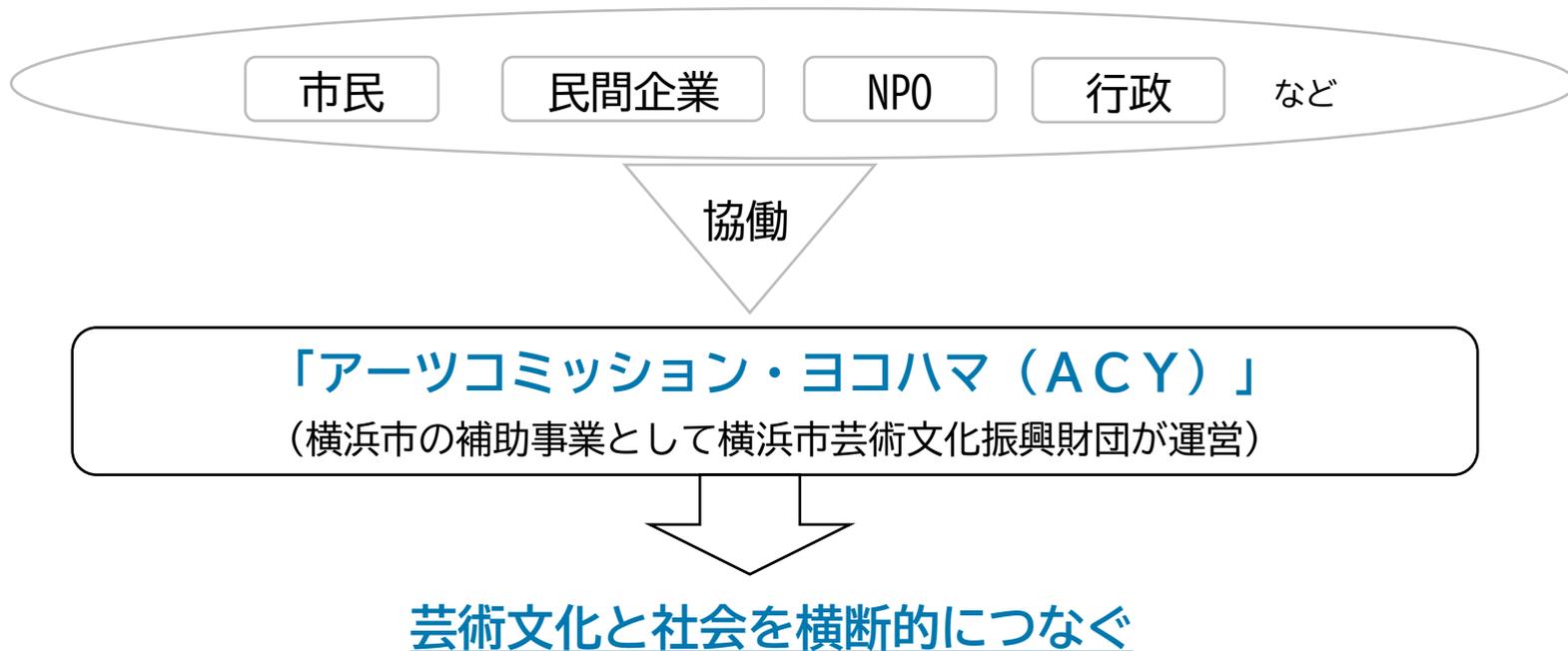
文化芸術創造都市 Creative City YOKOHAMA

- アーティスト・クリエイターの集積
- アートやデザインなど文化芸術の創造性を活かした、
歴史的建造物や公共空間、遊休不動産や民間ストックの活用



写真：鈴木理策、提供：BankART1929

都市文化の保存・再生、にぎわい創出、都市のプレゼンス向上等



「ヨコハマ西口アートプロジェクト」は、横浜西口エリアマネジメント（以下「エリマネ」という）からACYへの相談を通じてスタート

ヨコハマ西口アートプロジェクト

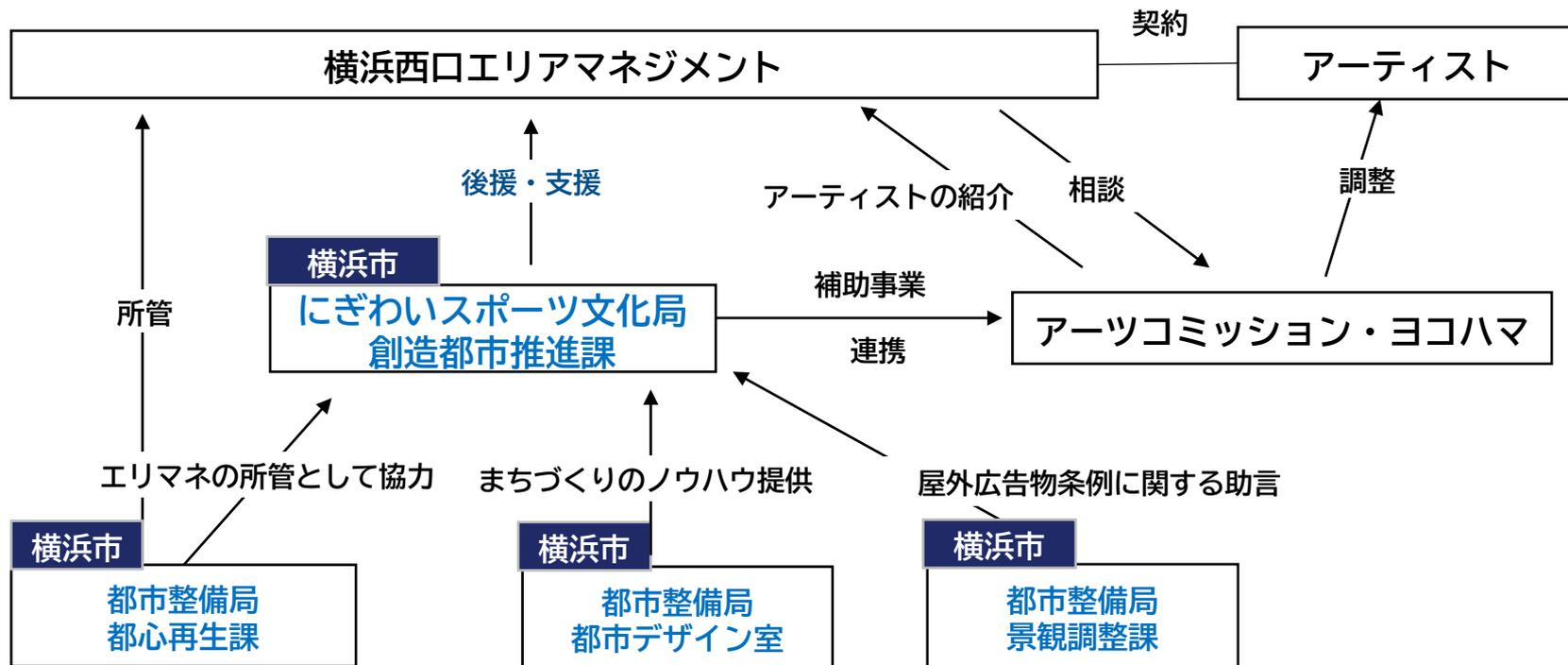
- アーツコミッション・ヨコハマの相談支援を通じて開始
- エリアの課題を、公共空間へのアート設置という手法を用いて解決を図る
- 民間企業、アーティスト、中間支援組織、行政といった多様な主体が協働



- 横浜市の「文化芸術創造都市施策」の目的と方向性を同じくする。
- 多様な主体が連携し、文化芸術の創造性を用いて課題解決を図るという点で、「文化芸術創造都市施策」の好事例となり得る。

プロジェクトの支援に係る庁内の支援体制

にぎわいスポーツ文化局が中心となり、都市整備局と連携しながら、本プロジェクトを支援



報告事項 業務実績について（令和5年度）

1 屋外広告物の許可申請及び届出件数

区 分	令和4年度	令和5年度	前年度比
表示・設置許可申請	495	459	92.7%
追加・変更・継続許可申請	2,173	2,068	95.2%
広告主等変更届出	99	112	113.1%
屋外広告物変更届出	116	159	137.1%
除却（滅失）届出*	376	361	96.0%

※データを職権により削除したものを含みます。

2 屋外広告物の登録申請及び届出件数

区 分		令和4年度	令和5年度	前年度比
市登録	登録申請	7	4	57.1%
	更新申請	1	1	100.0%
	変更届出	4	3	75.0%
	廃業届出	2	0	0.0%
特例届出 (県登録)	登録届出	72	88	122.2%
	変更届出	121	110	91.0%
	廃業届出	7	5	71.4%

3 路上違反広告物*の除却実績

種 別	令和4年度	令和5年度	前年度比
はり紙	79	95	120.3%
はり札	25	137	548%
広告旗	0	0	-
立看板	338	297	87.9%
合 計	442	529	119.7%

※屋外広告物条例に違反して道路上に表示又は設置された屋外広告物を、路上違反広告物と呼んでいます。電柱等に貼付されたチラシ・ポスターや、カラーコーンやペットボトルを利用した立看板が大部分を占めており、本市では、主に業者への委託によりこれらの撤去を行っています。



(例) はり札



(例) 立看板

4 イベント広告物協議制度*運用実績

	事業名称	設置期間	内容
	協議申出者		
1	SEASIDE CINEMA 2023 SEASIDE CINEMA 2023 実行委員会	R5/5/2 ～5/7	横浜赤レンガ倉庫、MARINE & WALK YOKOHAMA での野外映画上映
2	第42回横浜開港祭 横浜開港祭協議会	R5/5/27 ～6/3	コスモクロック21への映像表示 (「42nd 開港祭」、ロゴ、花火)
3	七夕☆よこはまでゆめかなえよう 一般社団法人七夕協会	R5/7/7 ～7/9	コスモクロック21への映像表示 (笹の葉、短冊、天の川等)
4 ※1 ※2	WCS 2023 横浜みなとみらいイベント 株式会社ポケモン	R5/7/14 ～9/30	・コスモクロック21への映像表示 (キャラクター、大会ロゴ等) ・みなとみらい地区一帯の装飾
5	サマーコンファレンス 2023 一般社団法人横浜青年会議所 コンベンション推進委員会	R5/7/20 ～7/22	コスモクロック21への映像表示 (イベントロゴ等)
6 ※2 ※3	Kアリーナ横浜こけら落とし 公演を契機とした回遊促進事業 横浜市にぎわいスポーツ文化局	R5/9/29 ～10/1	コスモクロック21への映像表示 (「YUZU×YOKOHAMA」、マスコット キャラクター“ゆず太郎”等)
7 ※1	ヨコハマイルミネーション 2023 「Starlight Parade」 ～未来へ繋ぐ光の道～ 一般社団法人 横浜西口エリアマネジメント	R5/11/15 ～6/2/14	横浜駅西口商業施設の壁面における 宇宙空間をイメージしたイルミネー ション(銀河、惑星、ビッグバン、 オーロラ等)
8	みなとみらい21地区 着工40周年記念事業 みなとみらい21地区 着工40周年記念事業実行委員会	R5/10/1 ～11/12	コスモクロック21への映像表示 (「MINATOMIRAI 40th」、記念事業 キービジュアル等)
9 ※2 ※3	Kアリーナ横浜での公演を契機 とした回遊促進事業 ※「6」のアンコール公演 横浜市にぎわいスポーツ文化局	R5/11/18 ～11/19	コスモクロック21への映像表示 (「YUZU×YOKOHAMA」、マスコット キャラクター“ゆず太郎”等)
10 ※1	ヨルノヨ 2023 クリエイティブ・ライト・ヨコハ マ実行委員会	R5/11/27 ～R6/1/4	・自動車及び象の鼻パークに設けた コンテナへの映像投影(イベント ロゴ、マップ、横浜市歌等) ・県立歴史博物館の壁面への映像投 影(作成:東京藝術大学大学院映 像研究科修了生)
11	2027年国際園芸博覧会 機運醸成PR 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会	R5/12/9 ～12/16	コスモクロック21への映像表示 (「GREEN×EXPO 2027」、公式ロゴ マーク、ポインセチア等)
12 ※1 ※2	プリキュア20周年記念事業を 契機とした回遊促進施策 横浜市にぎわいスポーツ文化局	R5/12/25 ～R6/1/9	コスモクロック21への映像表示 (「PRECURE 20th」、「YOKOHAMA」、 ハート)

	事業名称	設置期間	内容
	協議申出者		
13 ※2	GUNDAM FACTORY YOKOHAMA の 会期終了に向けた回遊促進施策 横浜市にぎわいスポーツ文化局	R6/2/26 ～3/31	コスモクロック 2 1 への映像表示 (「ガンダム」、ハロ、ガンダム頭 部、「3.31 FINAL」等)
14	セントパトリックデー 横浜グリーンライトアップ セントパトリックデーパレード横浜元町実行委員会	R6/3/8 ～3/17	コスモクロック 2 1 への映像表示 (アイルランド国旗・国花)
15 ※3	THE IDOLM@STER MILLION LIVE! ようこそ、みなとみらいへ-M♡M- 一般社団法人横浜みなとみらい 2 1	R6/2/24 ～3/18	コスモクロック 2 1 への映像表示 (「MINATOMIRAI 40th」、「MILLION 10th」、「WELCOME TO M♡M」等)
16	EARTH HOUR 2024 in 横浜 横浜市温暖化対策統括本部	R6/3/23	コスモクロック 2 1 への映像表示 (「EARTH HOUR」、SDGs ホイール等)
17	横浜市卒業お祝いメッセージ 横浜市都市整備局	R6/3/23 ～3/25	コスモクロック 2 1 への映像表示 (桜、「祝卒業」、OPEN YOKOHAMA 等)

(参考) 令和 6 年度 (対象期間: 令和 6 年 4 月 1 日～8 月 20 日)

	事業名称	設置期間	内容
	協議申出者		
1	SEASIDE CINEMA 2024 SEASIDE CINEMA 2024 実行委員会	R6/5/2 ～5/6	横浜赤レンガ倉庫、MARINE & WALK YOKOHAMA での野外映画上映
2 ※2	日産スタジアムでの SEVENTEEN 公演を契機とした回遊促進事業 横浜市にぎわいスポーツ文化局	R5/5/17 ～5/26	コスモクロック 2 1 への映像表示 (ロゴ、「SEVENTEEN」、ダイヤマー ク、「YOKOHAMA」)
3	第 43 回横浜開港祭 第 43 回横浜開港祭協議会	R5/5/25 ～6/2	コスモクロック 2 1 への映像表示 (「43rd 開港祭」、ロゴ、花火)
4	GREEN×EXPO 2027 1000 日前イベント 公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会	R5/6/17 ～6/23	コスモクロック 2 1 への映像表示 (「GREEN×EXP」、公式ロゴマーク、 マスコットキャラクター等)
5	七夕☆よこはまでゆめかなえよう 一般社団法人七夕協会	R5/7/7 ～7/9	コスモクロック 2 1 への映像表示 (笹の葉、短冊、天の川等)
6	サマーコンファレンス 2024 一般社団法人横浜青年会議所 コンベンション推進委員会	R5/7/18 ～7/20	コスモクロック 2 1 への映像表示 (イベントロゴ、花火、「Design the Future」等)
7 ※2	「ドラゴンクエストカーニバル in 横浜・みなとみらい」を契機と した回遊促進事業 横浜市にぎわいスポーツ文化局	R5/8/9 ～8/18	コスモクロック 2 1 への映像表示 (スライム、イベント名称等)

※イベント広告物協議制度とは

広告物活用地区(商業地域・近隣商業地域)内で開催される「活力ある街並みの形成等に特に寄与する」行事等を対象とする制度で、掲出される期間や時間が限られる屋外広告物について、所定の基準に基づく市長との協議の成立をもって許可があったものとみなします。

協議が成立した場合、対象の屋外広告物は大きさに関する基準等が緩和されるとともに、禁止地域(高速道路の付近等)や禁止物件(橋りょう等)への掲出も可能となります。

※番号の下に「※1」とあるものは広告物等を表示する期間・時間、「※2」とあるものは商業広告の表示割合、「※3」とあるものは表示する時刻が協議基準を超えるためにただし書きを適用した案件です。

5 「安全点検まち歩き」について【第 72 回資料再掲】

「安全点検まち歩き」は、一般社団法人神奈川県広告美術協会と協定を締結し、看板の専門家より、屋外広告物の安全管理の重要性及び安全点検のポイントについて講義をしたのち、商店街の方と実際に商店街に設置されている危険な屋外広告物を見ながら、予見される危険性及び必要な処置等を伝える事業です。当該事業は、商店街の方に「看板の安全性をチェックし、危険性を感じた場合は専門家に点検してもらい、必要な処置を行う」といった自主的な安全管理を促し、落下等の事故を未然に防ぐことを目的としています。

令和 5 年度は、令和 6 年 1 月 15 日（月）に横浜中央市場通り商店会（神奈川区）にて実施しました。

【当日の様子】



6 横浜サインの取組について【第 72 回資料再掲】

本市では、機能性やデザイン性が高く、横浜の魅力ある景観をつくる広告物を「横浜サイン」と名付け、平成 25 年度から普及啓発に取り組んでいます。令和 5 年度は、パネル展を開催しました。

【「横浜サイン展 2024」実施概要】

実施日時 令和 6 年 1 月 27 日（土）～2 月 2 日（金）

実施場所 横浜市庁舎 1 階 展示スペース A

展示内容 屋外広告物について学べる解説やクイズ、過去の横浜サイン賞受賞作品など

アンケート回答数 115 件

アンケート主な意見 今後も続けてほしい

何気なく見ている風景がこの企画によって意識して見歩こうと思った
屋外広告物の存在とルールがあることを知ることができた
実物の展示があると良い

【展示の様子】

